

---

**「誤嚥性肺炎」と関わりある「薬の服用実感」**  
**高齢者の多い前立腺がん患者の 3 割が「薬の飲みづらさ」訴える**  
～『前立腺がん患者の服薬』に関する患者調査を実施～

---

月 600 万人が利用する日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社 QLife (キューライフ/本社: 東京都千代田区、代表取締役: 山内善行) は、前立腺がん患者を対象に、『前立腺がん患者の服薬』に関する調査を実施した。

戦後長い間「日本人の三大死因」として認識されていた、がん(悪性新生物)、心疾患、脳卒中に、肺炎が加わり「日本人の四大死因」となった事は大きな変化といえる。その背景にあるのが、世界にも類をみない「超高齢化」に伴う高齢者の肺炎の増加だ。その原因としてもっとも多いものに「誤嚥性肺炎」がある。誤嚥を起こすリスクには、食事や胃・食道内容物の逆流などが挙げられるが、医薬品の服用にも注意が必要である。一般に、高齢になるにつれ、多剤併用の患者が多くなる傾向があり、「健康にする薬」の服用それ自体が「誤嚥性肺炎」を招いてしまう恐れがある。

一方、OD 錠や嚥下補助ゼリーなど誤嚥のリスクを減らすとされている方法があるものの、その存在自体を知らず、「仕方なく」既存の薬剤をこれまで通りの飲み方で服用し、「仕方なく」満足している人も少なくない。そこで QLife では高齢者の患者の多い前立腺がん患者にインターネットでアンケートを行った。全国 250 人から回答を得た。

**【結論概要】**

前立腺がん患者の多くは、多剤服用を行っており、約 3 割もの患者が薬の飲みづらさを訴えている。飲みづらさを解消する手段の 1 つである OD 錠への変更については、服用経験者の約 8 割が「満足」している一方、服用未経験者は変更について消極的だった。服用経験が無い高齢者にとっては、OD 錠は未知の薬であり、「誤嚥を減らす可能性がある」といった情報も不足していることが推察される。

### 【調査結果概要】

#### 1) 前立腺患者の約4人に1人が、一度に5錠以上の薬を服用している

前立腺がん患者の約4人に1人が1回の服用で最大5錠以上の薬を服用し、約8%が最大で8錠以上を服用。「糖尿病」や「高血圧以外の心疾患」、「脳血管障害」、「腎障害」といった循環器系や代謝・内分泌系の疾患を併発していると、服薬錠数は多くなる傾向に。

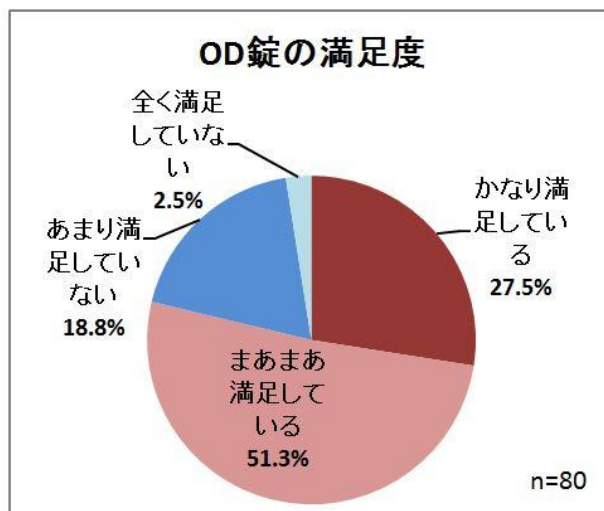
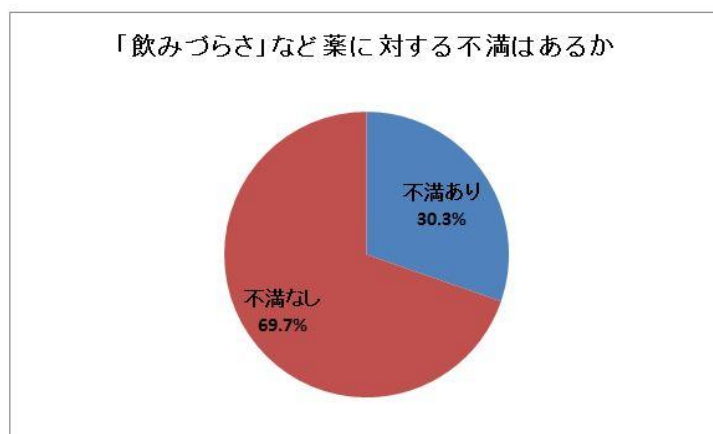
#### 2) 前立腺がん患者の約3割が薬に対しての不満を抱えている

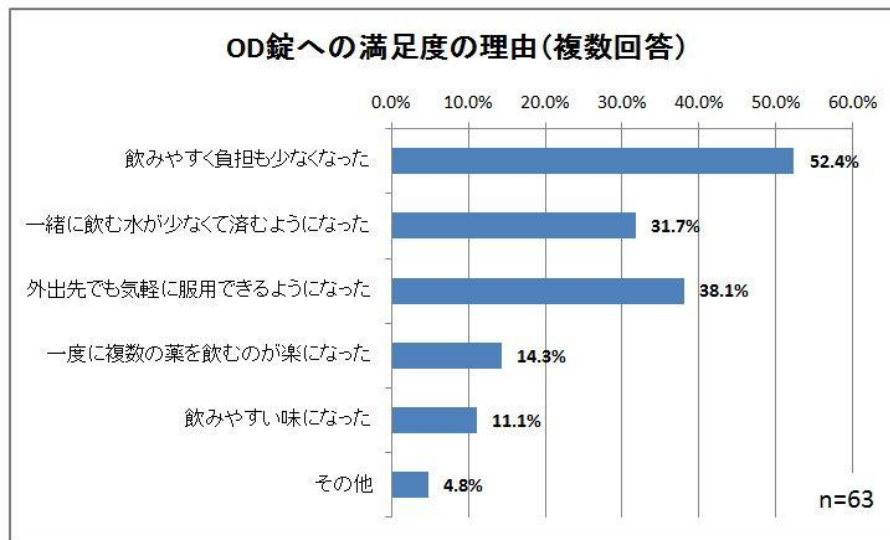
3割の前立腺がん患者が「飲みづらい」「喉につかえた感じがした」など、薬に対して何らかの不満を抱えており、最大服薬錠数が5錠以上の患者ではその比率は半数近くに。

#### 3) 口腔崩壊錠(OD錠)服用経験者の約8割が「満足している」と回答

理由として「飲みやすい」「水が少なくてよい」「外出先でも気軽に服用できる」が挙げられた

#### 4) 服薬中の薬にOD錠が発売されたら、4人に1人が「変更したい」





#### 【調査実施概要】

▼調査主体 株式会社QLife(キューライフ)

▼実施概要

- (1) 調査対象: 前立腺がんと診断され治療中の患者
- (2) 有効回収数: 250人
- (3) 調査方法: インターネット調査
- (4) 調査時期: 2013/8/ 12~2013/8 /19

◆調査レポートの詳細は、以下よりダウンロードしてください。

⇒ [http://www.qlife.co.jp/news/130926qlife\\_research.pdf](http://www.qlife.co.jp/news/130926qlife_research.pdf)

---

#### <会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife(キューライフ)

所在地 : 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-13-1 ポッシュビル赤坂 7F

代表者 : 代表取締役 山内善行 設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容: 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念: 医療と生活者の距離を縮める サイト理念: 感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>

---

本リリースに関するお問い合わせ先: 株式会社 QLife 広報担当 田中

TEL : 03- 3500-3235 / E-mail : [info@qlife.co.jp](mailto:info@qlife.co.jp)

---